



こども手話講座 しゅわであそぼ



こども手話講座に参加する小野さん親子

## もっと手話に触れてみよう!

### 手話コラム・手話動画

手話や聴覚障害者に関する身近な話題を提供するコラムと、手話による簡単な挨拶などを紹介する動画を市HPで公開しています。



### 手話出前講座

5人以上のグループを対象に、指定された場所に講師が出向いて、挨拶など身近な言葉の手話を紹介する講座を行います。

【詳細】 障害福祉課

☎25・6476、FAX 24・7007

### 手話で楽しく交流

市内には、聞こえる人と聞こえない人が手話で会話を楽しむサロン「デフ・コミュニティサロンふくろう」と、手話を学ぶ8つのサークルがあります。

【詳細】 旭川ろうあ協会

☎45・0757、FAX 45・0760

皆さんは、手話でコミュニケーションをとったことがありますか。手話は、手指や体の動き、表情を使って表現する「見る言葉」です。多くの人が手話を理解できれば、聴覚に障害がある人も、地域の中で安心して暮らすことができます。市では「手話言語に関する基本条例」を制定し、手話への理解や普及を進めています。



# 誰もが心豊かに暮らせるまちに 手話に親しみましょう

【詳細】 障害福祉課 ☎25・6476、FAX 24・7007

### 「こども手話講座」を開催

市では、小さな頃から手話に親しむ機会を設けて、手話の普及や聴覚障害がある人への理解を深めてもらうため、今年度初めて「こども手話講座 しゅわであそぼ」を開催しました。

中央図書館や東光図書館など、各所の図書館で開催された同講座には、小学3年生までの子供たちが保護者と一緒に参加。クイズや手遊び、手話による絵本の読み聞かせなどで、楽しみながら手話に親しみました。

### 身近な言葉を手話で

手話を勉強している小野貴子さんは、8歳の娘と一緒に「こども手話講座」に参加しました。貴子さんの影響で娘のなつきさんも幼い頃から手話に興味を持ち、今では簡単な手話であれば使うことができます。「講座に参加して、手話で『ドラえもん』と表現するときは、ポケットの形とそこに手を入れる動きで表現すると分かりました。今まで知らなかったため、勉強になったし、楽しかった」となつきさんは笑顔で話します。

## 様々な人が暮らしやすいまちに



旭川ろうあ協会  
事務局長  
橋本由美さん

旭川ろうあ協会では、耳の聞こえない方への理解と手話の普及を進めるために、手話講習会や手話通訳者の養成講座等を開催しています。先日開催した「こども手話講座」では、動物などを身ぶりで表現する子供たちの表現力の豊かさに感心したと共に、手話への関心の高さを感じました。一方、電話でできない手続きやファックス番号が書かれていない広告などが多く、まだまだ不便を感じます。耳の聞こえない人など様々な人がいるということを誰もが理解している、そんな社会になってほしいです。